

# たくしんNEWS

赤茜(あかなあ)号

2024年(令和6年)9月号 vol.289

2024年(令和6年)9月号 vol.289

拓南

拓伸会「拓南グループ」

拓南本社株式会社  
拓南製鐵株式会社  
拓南商事株式会社  
拓南製作所株式会社  
株式会社西原グリー

拓伸商事株式会社(大阪)  
拓伸商事株式会社(福岡)  
株式会社薩南物産  
拓鐵事業協同組合

# 〈100年ゴルフレンジ〉 目指して

50周年記念式典開催 西原グリーンセンター



新たな歳月を重ねていく門出を祝し「祝い打ち(始球式)」=2頁参照



NGC杯は宮里藍選手らを輩出

「オープンが海洋博不況と重なつてしまい、お客様がうてくださるかとも心配だった。拓南製鐵が他の課題を抱えていた時期とも重なり開業当初は順調とはとてもいえなかつた。それだけに50周年を迎えて感慨深い」

その隣に、喜和産業会員の安岡眞理子氏が座つていた。2頁写真参照。ご主人は(先代社長の匡胤氏)とともに、オープン当初からゴルフ用品の取り引き等でお世話になつてゐる方だ。

「西原GCには立派な業績がある。主催したNGC杯は

の女子ゴルフ界の興隆に貢献している＝左参照。私もも、その大会当初から最後の大大会まで支援させていただとき、光栄に思っている」記念式典が、翁長辰伍常務の司会で始まった。

まず、開会の辞で、外間一成専務がスピーチに立った。

外間専務は、西原GCのあゆみを振り返った。

1974年8月2日に、拓伸会初のサービス業としてゴルフ練習場を開業。翌年、9ホール(現在は10ホール)のショートコースを併設。1979年から第25回大会ま

記念式典が始まる前、会場の席で、西原GCの初代支配人・山城保氏がこんな思い出話をしてくれた。

山配場 女子エルフアーリを育成する  
たいへん意義のあるものだ  
った。宮里藍選手や諸見里し  
のぶ選手など輩出し、今日

## 「NGC杯は偉大な業績」

西原グリーンセンター（西原GC）は8月9日、開業50周年記念式典を開催した。受付カウンター前のオープニングスペースを会場に、開業以来お世話になった取引先、ゴルフ業界・西原町・拓伸会の関係者など約100人が出席した。代表あいさつで、古波津昇社長は「あと50年西原でしっかりと営業を続けて、100年『ゴルフレンジ』を目指そう」と抱負を述べた。式典では、「新たな歳月を重ねていく門出を祝して祝い打ち（始球式）も行つた。9人のシャープなスイングに大きな拍手がわいた。鶴姫云では、キッチンカーライドが登場し、ユニークなものでないに大盛況となつた」（2頁）とみ記事参照。



記念式典会場

めくくつた。  
続いて、古波津社長があい  
さつに立つた。

「拓伸会は1974年、本土復帰後間もない頃に、ここ西原の地でゴルフレンジを開業した。オープンの時、私は父に連れて来られ、夜遅くまでいた思い出がある。姉の翁（2貢）」





# 小さなヒヤリも大事な気づき

## 声に出して災害ゼロ

### 拓南製鐵・拓南商事・協力企業合同安全衛生大会

拓南製鐵・拓南商事・協力企業合同の第27回安全衛生大会が8月22日、うるま市民芸術劇場響ホールで開かれました。各社役員、拓伸会員企業役員など約400人が参加した。古波津昇会長は訓示の中で「だれでも失敗はある。それを恥ずかしがらずにきちんと報告することが、安衛生管理の一一番重要なことだ」と強調した。3社12部署が、安全衛生活動の取り組みをそれぞれ発表した。

大会は、1月に発生した能登半島地震で亡くなつた方々への默とうが始まった。

続いて、拓南製鐵の知念正元副社長がステージに上がり、「ゼロ災を勝ち取るために『自分のために』みんなの為に『忍耐強く』」という社訓の言葉は心に強く残る。ゼロ災を達成するために、一緒に唱和を」と会場に呼び掛け、参加者全員で社訓唱和を行つた。

古波津会長が訓示に立つた。「各発表の事例を一つ一つ、聞き逃さずに教訓として受け止めてほしい。ケガや不注意など、だれでも失敗はある」といふ。古波津会長は訓示の中で「だれでも失敗はある。それを恥ずかしがらずにきちんと報告することが、安衛生管理の一一番重要なことだ」と強調した。

常生活も含めて徹底していく。衛生面については、長寿県沖縄と言わされてきたが、新聞報道によると、沖縄県の男性は43位(2020年調査)まで落ちている。健康第一を強く意識してほしい」と強調した。

拓南商事の安全衛生活動概要是、安全衛生委員会の中村明史次長が報告した。

「2023年度は、物損事故が前年度比2件増の25件だ

った。作業別では『荷物の積み降ろし』『運搬』で引き続き多く起きている。作業方法、手順の見直しが課題だ。

労災の発生件数は、前年度比3件増の8件だった。災害の内容からボイントを絞り、可動域への進入とグラインダ作業に重点を置いて対策

を講じた。

一方、有所見率は、前年度比7ポイント減の86%だつた。県平均の72%に比べるとまだ高い。健診診断の結果、肝機能、血糖値、血中脂質の順で高かつたが、血糖値が前年度比24人減となつた。健康経営の効果が出ているのかかもしれない。

もしない。

今年度の目標は「健康経営の定義考え方の定着」「1日6000歩以上歩く」「血中脂質の改善」だ

。

大会は、12部署による安全衛生活動に移つた。

各部署とも、持ち時間の中

で、ゼロ災の状況、ヒヤリハット対策、安衛生活動の重

点事例、事故発生例と対策、

作業前KYミーティング活

動、危険対応訓練などについ

て発表した。その中で、特にアピールしたと思われるボイントは下記の通り。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。

。





\*「ヒューリックス」間に載る名前、人物の肩書きなどは、記事を史料として活用するため、原則として当時のものとします。

## 街頭パレードで「県産品愛用を」

県産品獎励月間 拓伸会も参加

7月



街頭キャンペーンで古波津会長あいさつ



### 体成分と筋肉・体脂肪を定量的分析

品質管理室長 盛島守礼



いますので、健康診断の結果を定量的に分析できます。下半身の左右差・アンバランスは転倒のリスクを高める上に腰痛や関節痛などの原因となります。

腕・左腕・体幹・右脚・左脚を定量的に分析できます。下肢の導入目的は社員健康増進ですが、具体的には「健康診断の結果だけでは見えてこない部分を掘り下げる」で

ます。

当装置を利用して得られる情報として、まず①体成分（水分・タンパク質・ミネラル・体脂肪）を定量的に分析し、栄養状態に問題がないか、人体成分の過不足を評価することができます。

統いて②筋肉・体脂肪について、部位別測定が可能で右

側の導入したインボディについて寄稿してもらつた。

**さらなる健康改善の機会に**

インボディ導入 拓南製鐵

7月

拓伸会会員企業各社は健康経営優良法人として、社員の健康の維持・増進に努めている。拓南製鐵では7月、新たな取り組みとして、体成分分析装置インボディを導入した。この装置は、社員一人一人の高齢化に伴うフレイルやロコモティブシンドロームによる転倒予防に効果が期待される。そこで、品質管理室の盛島守礼室長に、

これイイね！ 笑顔はじける県産品。県産品獎励月間が7月1日から31日まで実施された。19団体による県産品獎励月間実行委員会（会長・古波津昇県工業連合会会長）は月間、学校給食屋食会、マンゴー販売促進キャンペーン、工業技術センターの支援とともに生まれた県産品の展示、ふるさと企業訪問などの各種行事を行った。

古波津会長は、街頭キャンペーングーの主催者あいさつで、「さきほど、学校給食屋食会に参加してきた。すべての食材が県産品で、とてもおいしい、栄養バランスも優れていた。街頭パレードでは、観光客の皆さんも手を振ってくれた。キャンペーングーの効果があつたと思う」と述べた。そして「県内外で県産品を使つていただきたい」と強調した。

古波津会長も汗だくでアピール（左から3人目）



首相補佐官の矢田稚子氏が6月21日、拓南製鐵本社中部事業所を訪ね、工場見学を行つた。矢田補佐官は、国民民主党副代表を務めた元参議院議員で、昨年9月に首相補佐官に起用された。大阪府の出身で、パナソニックの勤務経験もある。

工場見学のヒアリングで、古波津昇会長から、拓伸会の事業、昇給状況、育休取得の状況、子育てサポート、得の向上につながる。県産品獎励月間を起爆剤として、県産品愛用を勧めていきたい」と強調した。

女性活躍、安全管理等について説明を受けた。

そのもう一方が「拓南製鐵の採用を増やす等女性活躍に取り組んでおり、職場で働く若手女性や管理職に就く女性活躍、安全運営等について説明を受けた。

男性の育児休業取得率の高さ、ひと月の平均残業時間の低さ、男女ともに働きやす

い職場環境、仕事と子育ての両立支援に積極的な企業を認定する「くるみん」取得などを紹介した上で、次のように記している。

拓南製鐵幹部との写真も載っている。初代電気炉を背景に、中央が矢田補佐官。

## 矢田首相補佐官 工場見学

首相官邸HPで紹介

6月

「さらに、業界として、男性が多いとのことです。女性の採用を増やす等女性活躍にも取り組まれており、職場で働く若手女性や管理職に就く女性活躍、安全運営等について説明を受けた。

男性の育児休業取得率の高さ、ひと月の平均残業時間の低さ、男女ともに働きやす

い職場環境、仕事と子育ての

両立支援に積極的な企業を

認定する「くるみん」取得な

どを紹介した上で、次のよう

に記している。





## 拓伸会を 「ラジオ体操優良団体」表彰

かんぽ生命保険那覇支店  
かんぽ生命保険那覇支店

8月

かんぽ生命保険那覇支店は8月13日、拓伸会を「ラジオ体操優良団体」として表彰した。授与式は、拓南本社で行われた。その後、ラジオ体操のレクチャーも行われた。そこで、拓南本社総合企画部統括課の島袋緑課長代理に寄稿してもらった。

### 一つ一つの動きを意識しよう

総合企画部統括課長代理 島袋 緑

伸び伸びと背伸びの運動  
伸び伸びと背伸びの運動  
からく♪ハイツ！だれもが  
第一声です。

### 沖縄のために鐵と歩んできた71年

地元2紙に全面広告 拓伸会

7月

拓伸会は7月3日、「沖縄タイムズ」「琉球新報」の地元2紙に全面広告を掲載した。  
大見出しは「沖縄のために鐵と歩んできた71年」。  
拓伸会の古波津昇会長は  
あいさつ文で、昨年迎えた創業70年、戦争スクランプ回収からの起業、台風に耐える鉄筋を使った建物の普及、社是「拓鐵興流」の意味するところなどについて触れ、「拓伸会は先を見据えてサーキュラー・エコノミーの観点から、重要な鉄資源のリサイクルをとおして継続して沖縄の発展に尽くしていくます」と締めくくった。

また、小見出し「100年企業へ向けて今、共に挑戦していること。  
100年企業へ向けて今、挑戦していること。」のものと、安全衛生活動、働き方支援、研究開発などの取り組みをコンパクトに紹介、資格・宣言等の会員企業一覧も載せた。



**沖縄のために鐵と歩んできた71年**

100年企業へ向けて今、共に挑戦していること。

拓伸会は7月3日、「沖縄タイムズ」「琉球新報」の地元2紙に全面広告を掲載した。

拓伸会の古波津昇会長は  
あいさつ文で、昨年迎えた創業70年、戦争スクランプ回収からの起業、台風に耐える鉄筋を使った建物の普及、社是「拓鐵興流」の意味するところなどについて触れ、「拓伸会は先を見据えてサーキュラー・エコノミーの観点から、重要な鉄資源のリサイクルをとおして継続して沖縄の発展に尽くしていくます」と締めくくった。

また、小見出し「100年企業へ向けて今、挑戦していること。」のものと、安全衛生活動、働き方支援、研究開発などの取り組みをコンパクトに紹介、資格・宣言等の会員企業一覧も載せた。



**午後のストレッチ体操**

6月からスタート 拓南本社

拓南本社安全衛生委員会は、社員の肩こり、腰痛、転倒防止等の対策のために「午後のストレッチ体操」を計画し、6月3日からスタートさせた。その状況について、財務部財務課の翁長有希奈氏に寄稿してもらつた。

財務部 財務課 翁長有希奈

習慣となっています。

ストレッチ体操をするこ

とで血行が良くなるほか、午

デスクワークが主な業務のため、長時間座ることにより同じ姿勢でいることが多い私たちにとって、午後のストレッチ体操は、とても良い

また、私は慢性的な肩こりに悩んでいましたが、ストレッチ体操のメニューにある

肩や首、背中の筋肉をほぐす

思いました。



本日（8月13日）、拓伸会は、かんぽ生命保険那覇支店長の金城兵次郎様より、2024年度ラジオ体操優良団体表彰をいただきました。下写真参照。

同表彰は、「ラジオ体操・みんなの体操」の普及推進の一環として、ラジオ体操の普及に功績のあった団体および個人に贈られるもので、毎年実施されております。

ラジオ体操は元々、国民の体力向上や健康の保持増進を図る目的で始まったそうですが、往時を知る先輩によると、拓伸会でも、壺川から浦添に工場を移した頃から

まで伸ばす丁寧な動き、動かしている部位に集中することで普段の体操とは違うことを実感しました。呼吸、手指などを実感しました。運動による全身への刺激は、体の機能を高めており、確かに汗ばみました。

ラジオ体操の健康効果については、次の効用が挙げられています。午後のストレッチ体操は、体の機能を高め、確かに汗ばみました。運動による全身への刺

激を意識して行うことで、効果を生み出します。拓伸会の皆さんも、次回のラジオ体操からより意識して行ってみてはいかがですか。

今回のワンポイントトレッスンで改めて正しいラジオ体操を学びました。一つ一つの動きを意識して行うこと

により、効果を生み出します。拓伸会の皆さんも、次回のラジオ体操からより意識して行ってみてはいかがですか。

私ももう40代、健康が気になるお年頃。夏休みで毎朝ラ

取入れ、40年以上続き今日に至っています。現在、拓伸会は全社をあげて健康経営に取り組んでおり、朝のラジオ体操は欠かせません。

授与式後の古波津会長のお言葉もありました。「ラジオ体操はしっかりとすれば汗ばむ動き」。実際に、一級指導員の佐喜眞靖様と拓南本社の田名俊徳ラジオ体操指導員にレクチャーしてもらいましたが、さすが、おつしやる通りでした。呼吸、手指まで伸ばす丁寧な動き、動か

る活動力の向上

以上の効用を意識して運動すると、健康な体づくりができるそうです。

今回のワンポイントトレッスンで改めて正しいラジオ体操を学びました。一つ一つの動きを意識して行うことにより、効果を生み出します。拓伸会の皆さんも、次回のラジオ体操からより意識して行ってみてはいかがですか。



授与式後にレクチャーを実施

ます。

1. 全身運動による基礎代謝アップ、血管年齢の若返り  
2. 新陳代謝の向上による脂肪燃焼効果・体力年齢の若返り

ります。

3. 血行促進による首・肩のこり、腰痛の予防・解消、屈伸運動や躍進運動による骨粗鬆症の予防

ります。

4. 目標を設定することによ

ります。

ます。

1. 全身運動による基礎代謝アップ、血管年齢の若返り

ります。

2. 新陳代謝の向上による脂肪燃焼効果・体力年齢の若返り

ります。

ます。

ます。

# 新入社員、拓伸会道場へ

さらにに体得する研修を実施 拓南商事

6月



研修の合間にスナップ撮影

拓南商事は、新入社員研修プログラムに、拓伸会合同の「道場」参加を組み込んでいる。「道場」研修後は新入社員に、学んだことをフィードバックさせるため、現場で使用するものを実際に製作してもらっている。企画開発室の名波和幸室長代理によると、「ペテラン社員がサポートにつき、先輩から学びながらチームで取り組む研修を行っている。今回のチームリーダー役は山下航平氏と幸地海成氏が務めた」という。そこで、山下氏に、6月から7月にかけて実施した研修について寄稿してもらい、他7人の新入社員にもコメントしてもらつた。

## 未経験の作業で同期と達成感

拓南商事製造部家電リサイクル課 山下航平

6月中旬から7月上旬にかけて、拓南商事の新入社員8人でチームを作り、拓伸会いました。

私は、あまり溶接が得意ではなく、失敗も多かったのですが、一緒に作業を行ってい

く中で、同期の仲間たちや先輩方に、溶接作業のトーチを

移動するスピードや距離間などのアドバイスをいただき、それらを意識して取り組むことで、うまく溶接することができるようになりました。

この期間で、同期の仲間と

たくさんのコミュニケーションをとり、先輩方にもたくさんサポートしてもらいながら、無事に安全通路を完成させることができました。

今回は、今まで使用したことのない道具を使い、今まで経験したことのない作業が多く、さまざまなことにチャレンジすることができました。同期の仲間との絆も深まり、とても良い経験となりました。この経験を生かして、それぞれの配属先でも頑張つていただきたいです。

## より自分たちの成果出せた 安里伶晃

6月

「道場」の成果を発揮

金城琉晴

6月

「道場」の成果を発揮

6月

## 酸素ブリント導入記(6) ここは、のるかそるか

黒島 善茂

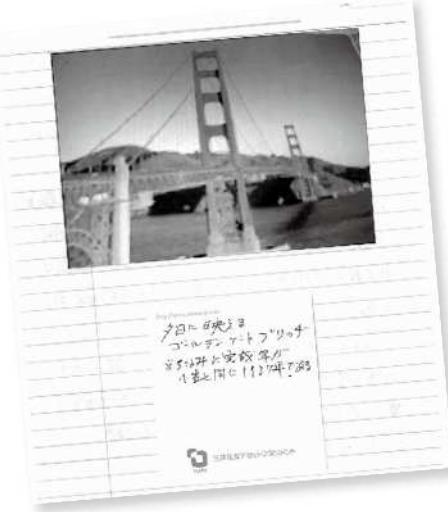
サンフランシスコに近づいた頃には夜の帳(とぼり)が下りて、機外は真暗になっていた。眼下には、あこがれていたゴールデンゲートブリッジが見える。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

何よりも目を見張ったのは街の灯が果てしなく広がり、大海原となつていたことだ。それは、あたかもアメリカの国力を誇示しているかのように感じた。当時の沖縄はといえば、米人住宅地現・おもるまち)と国際通りによく外燈が灯り出していた。

何はどうあれ、アメリカの地に第1歩を踏み出すと、高揚感と緊張感に包まれた。ただ、ターミナルビルに着くと、嘉手納空港と雰囲気が似ていて、何とはなしにホッとした。

米国家族等は迎えの車で次々に去つて行き、留学生グループは用意されたバスで去り、気がつけば、私1人が取り残されていた。

タクシーを探しても見つからず、焦つてしまつた。実はここが軍専用空港で、呼び寄せない限りタク



アカニイタマ  
ゴンゲートブリッジ  
ヨリナキトモ  
ハシヒテキナリ

「ここで泊まることはできない、すぐ出て行きなさい」と命じた。「私は初めてアメリカに来たので、この時間だとホテルを探せない。何とか泊めてほしい」とお願いしたが、にべもなく「だめだ、立ち去りなさい」と聞き入れてくれた。

(拓伸会 前名誉会長)

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

曹(?)らしき人物が現れる。車のライトが川の流れとなつて動いていた。

## 暑気払いで「ミニユニークーション」 薩南物産

8月

## 第1回拓伸会フットサル交流会 「ザ・シンキンドーム」で開催 拓伸会

8月



今年は、鹿児島でも例年になく厳しい暑さが続いています。社員の疲れもピークを迎えていましたので、体にたまつた熱を追い出し、元気を取り戻すための暑気払い懇親会を8月2日18時より天文館にある「ホテルサンデイズ鹿児島」で開催しました。健康経営を推進するうえで、社員間のコミュニケーションは、仕事に対する自信や満足感につながります。

懇親会は、江上晃一郎常務の司会ではじまり、古波津昇社長から「鹿児島県だけではなく、九州全体に大きく貢献できる企業になろう」とのあいさつがありました。そして、田邊雄二常務による乾杯。冷えたビールと美味しい料理で、楽しいトークが少しづつ弾んでいきました。お腹を満たし、お酒が進むにつれて、席を移動しながら会話が大いに盛り上がっていました。

当日は、7月1日および8月1日に入社した5名の新入社員も参加し、自分から会話の輪に加わり、楽しんでいました。併せて、拓南本社から業務で来社していた安全統括室および人事部の計4人も加わり、大きな暑気払い懇親会となりました。

拓伸商事大阪の大城秀政

社長、本部賀代子監査役の飛

び入りあいさつで和やかな

雰囲気が広がる中、私から

明日からの仕事も全員で頑張りましょう」と締めのあいさつを行つて、無事に閉会しました。

拓伸会は8月15日、拓伸会フットサル交流会を初めて開催した。会場は「コザシンキンドーム」。そこで、拓南本社総合企画部の又吉史也氏に第1回大会を振り返ってもらつた。

## 暑気払いで夏を乗り切ろう

副社長 日高 勝



(左から)古波津社長、日高副社長

拓伸会は8月15日、拓伸会フットサル交流会を初めて開催した。会場は「コザシンキンドーム」。そこで、拓南本社総合企画部の又吉史也氏に第1回大会を振り返ってもらつた。

## 予想以上の応援に感謝

拓南本社総合企画部企画管理課 又吉史也

拓伸会は8月15日、拓伸会フットサル交流会を初めて開催した。会場は「コザシンキンドーム」。そこで、拓南本社総合企画部の又吉史也氏に第1回大会を振り返ってもらつた。



「第1回拓伸会フットサル交流会」を8月15日にコザシンキンドームで開催しました。おかげさまで、会員企業各社から選手、応援の方も含めて約50人が参加し、盛大な大会となりました。

初めての開催のため、会場探しに苦労しましたが、拓南商事の與那嶺史矩さんのお手配もあり、無事に交流会を開催することができます。

拓伸会は、普段は接する機会が少ない他社の社員ともフットサルを通してコミュニケーションを取ることができます。また、オカゼまで、会員企業各社から選手、応援の方も含めて約50人が参加し、盛大な大会となりました。

拓伸会は、普段は接する機会が少ない他社の社員ともフットサルを通してコミュニケーションを取ることができます。また、オカゼまで、会員企業各社から選手、応援の方も含めて約50人が参加し、盛大な大会となりました。

拓伸会は、普段は接する機会が少ない他社の社員ともフットサルを通してコミュニケーションを取ることができます。また、オカゼまで、会員企業各社から選手、応援の方も含めて約50人が参加し、盛大な大会となりました。



今回の研修で得たことを生かしながら、今後の業務に取り組んでいきたいと思います。

重大な報告ミスをした相手を責めるのではなく、今後手の問題解決に焦点を当てることが大事だと感じました。2つ目は、パワーハラを恐れても何を指導しないのが一番よくないということです。

指導された側が不満に思つたからといって、すべてがパワーハラになるのではなく、言い方のルールを守りながら必要な指導は行うことが大切だと感じました。

### 言い方のルールを知つて守る

づくりのための管理職パワー・ラスマント研修を行なった。講師は、拓南本社安全部全室括室の長濱直次室長(健康増進担当者)が務めた。参考者は、日高勝副社長をはじめ、主任以上の管理職計7人。そこで、参加者の朝山由紀子主任に感想を寄稿してもらつた。

明るい職場づくりのために  
管理職パワーハラスマント研修

☆組織変更  
人・事・往・來  
〔拓南本社〕 7月1日  
(廃止)総合企画部総合企画課  
(新設)総合企画部企画管理課  
総合企画部統括課

2024年  
7月1日～8月31日

〔薩南物産〕 7月1日

主任 朝山由紀子

8

祝・西原GCO50周年  
記念式典が盛大に開催された。会場は、初代支配人の山城保徳さんと喜和産業会長の安岡眞理子さん、が座つていらっしゃいました。司会進行役を務めたのは、なんと正面に座おられたところ、なんど正面に座おられなさそばかりに、お二人は前列のイスをクリリと動かし始めたのです。じつに語を進むことをがたばりありうる、数行のコメントしか掲載できませんでした。鈴木